

第9回市立病院のあり方検討会議の開催結果について (速報版)

1 開催概要

- (1) 開催日時 平成29年4月19日(水) 14:00～15:30
- (2) 開催場所 総合保健福祉センター(アシスト21) 2階 講堂
- (3) 議 題 改革プラン(たたき台)について

2 意見交換要旨

(1) 地域医療構想について

○佐多委員(産業医科大学病院・前病院長)

地域医療構想とは、2025年の医療需要の推定に基づいて病床機能を転換しているというものだが、医療現場では高度急性期と急性期の区別は難しい。また、回復期病床が不足することだが、慢性期から転換するのはハードルが高いため、急性期から転換するのが現実的だろう。

○保健福祉局

回復期病床については、今後、地域医療構想調整会議において、しっかりときめ細やかに議論していただく必要があると考えている。

また、今後は、在宅医療や医療・介護の連携の仕組みなど、地域医療構想に関連する環境づくりも必要になってくるため、地域医療構想調整会議と併せて総合的に考えていきたい。

(2) 在宅医療について

○平田委員(戸畑区親子ふれあいルーム・代表)

地域医療構想に、「北九州区域の実情に応じた在宅医療等の提供体制の構築を進める」とあるが、実際に在宅医療を手厚くするのはものすごく大変なことだと思う。訪問する看護師や医師を派遣する在宅医療センターのような仕組みも必要になってくるかも知れないが、現在本市の在宅医療はどういう状況になっているのか。

○保健福祉局

在宅での医療・介護が必要となった場合については、平成28年度から各地区に在宅医療・介護連携支援センターを設置しており、在宅医療と介護が一体的に提供さ

れるよう、地域包括支援センターや病院からの相談を受けて、訪問診療を行う医師などのコーディネートをやっていくような仕組みを設けている。

また、訪問看護ステーションなど地域の在宅医療の資源について、インターネット上で検索できるサービスを今年度から開始したいと考えている。

一方、在宅医療を支えるためには、病態が急変した方を受け入れる病院の後方支援機能も必要になるため、地域医療構想調整会議の中で関係者での議論が必要だと考えている。

(3) 経営状況・収支計画について

○花岡委員（福岡県看護協会・会長）

経営状況について、病床利用率の低下が経営悪化の大きな要因ということだが、6ページ上段の単年度実質収支を見ると、26年度と27年度で約12億の差があり、医療センターで約9億のマイナスとなっている。手術件数や延べ患者数などは減っていないので、病床利用率の低下以外にも原因があるのではないか。

○事務局

26年度から27年度の落ち込みについては、病床利用率の低下による入院収益の減少が大きな要因だが、それ以外にも、年金制度改正等により給与費等の費用が増えたり、長期的借入金の返済などの要素もある。

○村上委員（村上公認会計士事務所・公認会計士）

収支計画を見ると、数的には結構厳しい印象を受ける。特に30年度から32年度は医療センターの償還元金が増えているが、29年度以前はどうだったのか。

○事務局

企業債の償還元金については、医療センターだけでなく、旧若松病院などの分もあり、平成29年度以前は、毎年度約20億円前後の状況が続いている。30年度から32年度は、さらに八幡病院の医療機器等の償還が加わるため、30年度は約22億円、31年度は約27億円、32年度は約27億円となるものの、33年度からは戻る。

(4) 経営形態について

○小松委員（手をつなぐ育成会・理事長）

市立病院は、今後は地域医療構想を見据えた病院改革をしていく必要があるが、こうした環境変化に対応するためにも、早く独法化をしなければならないと思う。

○原田委員（乳がん患者会あすかの会・会長）

私は乳がん患者会として活動しているが、がん患者や家族は本当に色々な心配や悩みを抱えている。医療センターには、医療機器やサービスの面でそうした患者や家族の気持ちに答えてもらえるような病院に早くなってほしいと思う。

私自身も主人の両親を自宅で看取った経験があり、在宅医療の大変さは分かるし、地域医療構想も大事だと思うが、このあり方会議で議論すべきなのはやはり市立病院の経営形態だと思う。

患者や家族のニーズに柔軟に対応していただけるよう、早く独法化を進めて欲しい。

3 まとめ

○近藤座長（北九州市立大学・学長特別顧問）

政令市の独法化病院においては、法人固有の給料表の導入など人事・給与面で柔軟な取り組みが行われている。費用面では人件費が非常に大きな部分であり、市立病院の職員にとっても、非常に関心のあるテーマだろうと思う。

法人固有の給料表の導入のほか、手当の新設などで職員がいきいきと働ける環境づくりが非常に重要になってくると思うので、先進都市におけるインセンティブの事例についてももう少し詳しく示して欲しい。また、資料を出すのは難しいかも知れないが、市立病院の給与水準についても示して欲しい。

一方、地域医療構想については色々なご意見があったが、今後の対応は次のステップで考えていくことになるので、この改革プランに書き込むのではなく、議事録として残していただければと思う。

今回の改革プランたたき台については、門司病院や看護専門学校など新しい内容が追記され、全体的にはご理解をいただけたと理解している。これまでたたき台という形で議論してきたが、内容についてはまとまってきているので、そろそろ名称的には改革プラン・案などに進めることを検討して欲しい。

4 次回会議（予定）

- (1) 開催日時 平成29年5月29日（月）15：00
- (2) 開催場所 西日本総合展示場 新館3F 301会議室
- (3) 議題 改革プラン（素案）について